

内外経済の課題

東京大学大学院教授、総合研究開発機構（NIRA）理事長

伊藤 元重

- * アメリカの繁栄とリーマンショック
- * EU拡大とヨーロッパ危機
- * 中国経済の過熱と日本の財政危機
- * アメリカからは良いニュース
- * うまく対処されてきた中国の過熱
- * 「デフレ的な時代」に変化の兆し
- * 閉塞感の中の安定
- * デフレを揺さぶる三つの要因
- * 日本の財政問題——正しい一歩は？
- * 産業構造の変化とビジネスチャンス



浅野 それでは開会いたします。（拍手）

今日は東大の伊藤元重先生にお願いいただきました。前回はちょうど民主党政権ができた直後で、どうなるかとおっしゃっておられましたけれども、懸念されたとおり政治のほうは全然ダメで、経済だけが目まぐるしく動いているということですね。

今日の演題は「内外経済の課題」ということで、ほかの講師でしたらインフレとデフレとかをまぜたような凝ったタイトルをお願いするところですが、伊藤さんならタイトルに関係なく会員がたくさん来てくださるのは間違いないので、この演題のままにさせていただきます。それでは伊藤先生、よろしくお願いたします。（拍手）

伊藤 伊藤でございます。こちらには時々呼んでいただきましたが、毎回伺うごとに経済は変わっています。経済学者がついていけないぐらい世の中は変わっていきまして、今日はその変化について今どう見ているかについて申し上げたいと思います。

ご案内のように今、ヨーロッパは大変な状況で、ギリシャの問題が毎日のように欧米の新聞のトップを飾っているわけですけれども、まず今、世界経済に何が起きているのかということ、少し大きな視点でお話しさせていただきたいと思います。

経済学者だけでなくエコノミストもよく使う言葉ですけれども、「大いなる安定」という言葉がございます。英語で Great Moderation です。